

## 平成28年度 第2回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

### 1. 日 時

平成28年7月20日（水） 午後1時30分から午後2時50分

### 2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

### 3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

### 4. 議事録（概要） ※次頁以降

平成28年度第2回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

議事概要

1. 開催日時

平成28年7月20日（水）13時30分～14時50分

2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

3. 出席者

- ・ 下関市立市民病院評価委員会  
弘山委員長、飯野委員、園田委員、佐々木委員
- ・ 下関市立市民病院  
池永理事、吉田事務部長 ほか5名
- ・ 下関市  
大崎市民部長、中村市民部次長、尾和病院管理課長 ほか2名

4. 内容

(1) 財務諸表の承認の際の意見書の確認について

- ・ 前回、法人から説明を受けた財務諸表について、評価委員会としては特段の意見はないため、事務局が示した意見書（案）のとおり市長に回答することとなった。

(2) 平成27事業年度業務実績報告に関する評価（小項目）について

- ・ 委員長の進行により、評価委員会としての各小項目の評価を確定した。
- ・ 評価結果は、全58項目中、「5」の評価が4項目、「4」の評価が36項目、「3」の評価が14項目、「2」の評価が4項目となった。
- ・ 主な質疑応答、意見等は以下のとおり（○委員、●法人）

【項目番号3】クリニカルパスの見直し等

○クリニカルパスの件数は前年を割っているため、積極的に増やしていただきたい。

【項目番号4】薬剤師による服薬指導の充実

○認知症の患者などが増えている中で件数を上げていくのは難しい。計画の達成率は高いが前年の実績からは減っている。

**【項目番号 6】 接遇研修の実施**

○全職員に対する参加率が低い。

●委託職員も含んだ全職員を対象とし、2回実施した接遇研修の参加率である。専門的、個別の研修はほかに行っている。

○接遇は大事である。2回では足りない。参加率を上げる工夫をしてほしい。

**【項目番号 9】 セカンドオピニオンへの対応**

○指標をみると「5」の評価となるが、実績そのものが小さい。もっとPRをしてほしい。

**【項目番号 16】 認定看護師の育成**

○看護師の確保は大変だが、認定看護師は特例で取れる点数に絡んでくる。

●集中ケア、感染管理等バランスを考えているが試験に通らないこともある。

○引き続き、資格取得に積極的に支援を行なっていただきたい。

**【項目番号 20】 救急体制の整備**

○前年の実績を比べると若干少ないが、計画に対する達成率は高い。市民病院ということで救急には力を入れていただきたい。

●症状、タイミングにより断らざるを得ないこともある。

○輪番制にも問題点があるが、以前に比べると強化されている。救急体制を整えていくことが今後も必要とされ、点数が取れる処置ができるには何を軸にしていくか、重点的に取り組んでほしい。

●当番日以外はかかりつけの患者を主に受け入れることとなるが、それ以外の患者でも来られたら断らないこととしている。市民病院としては受け入れざるを得ないときもある。コンビニ受診とならないよう市民の方も理解してほしい。

○市全体で問題になっているが、市民病院の立場からは市民に対しては言いにくいので、保健所等に市民教育をお願いしている。

**【項目番号 22】 健診センター整備に向けた実施体制の構築**

○健診の件数が前年より200件ほど増えている。新しい健診センターを見学させてもらったが、今年は11月まで予約がいっぱいになっている。引き続き、実施体制を強化していただきたい。

**【項目番号 23】 予防医療の充実**

○参加者数が減ったのはなぜか？

●専門医による糖尿病教室の充実を図るため、開始時期が遅れてしまった。

○計画に対して実績が低い。内容を充実したなら自己評価に示してほしい。

**【項目番号 28】 がん地域連携クリニカルパスの活用**

○がん診療連携拠点病院の指定が外れたため、実績はない。項目を見直す必要がある。

**【項目番号 30】緩和ケア病棟開設に向けた体制整備**

○施設の整備が今年にずれ込み、機能評価も早く受けるべきであった。

**【項目番号 32】地域医療支援病院の承認**

○今年度に地域医療支援病院の申請をする予定とのことだが、問題点は？

●紹介率、登録医はクリアしているが、開放型の病室など規程の整理をしているところ。

○地域医療支援病院の承認をできるだけ早く取れるよう努力していただきたい。

**【項目番号 45】ベンチマークの活用**

○ジェネリックの構成比は？

●昨年は悪く機能評価係数も低かったが、少しずつ良くなっている。

○適正な在庫量は？額が大きいため、赤字なのできっちり取り組んでほしい。

●棚卸により不良在庫を抱えないよう重点的に取り組んでいる。

○P C I などカテーテルの納入価格のベンチマークは？

●単価が高いため実際に使った数だけ支払いをするなど気を付けてはいる。

**【項目番号 58】予算、収支計画及び資金計画**

○未収金が多い。平成 24 年度からの額はどのくらいか？

●保険者からの診療報酬は 2 か月遅れで入ってくるため大きくなっているが、患者からの未収分は、それまでは年間 2 ～ 3 千万円であったのが独法化してからは何百万単位に落ちて推移している。

**(3) その他**

- ・事務局より、次回の評価委員会では、大項目評価、全体評価を中心に業務実績に関する評価結果について審議し、資料は事前に送付する旨を説明